

# 高知県感染症発生動向調査(週報)

2011年第14週[4月4日~4月10日]

高知県衛生研究所 高知県感染症情報センター  
 TEL:088-821-4961 FAX:088-825-2869  
<http://www.kenkou.med.pref.kochi.lg.jp/eiken/>  
 E-mail:kansen@ken4.pref.kochi.jp

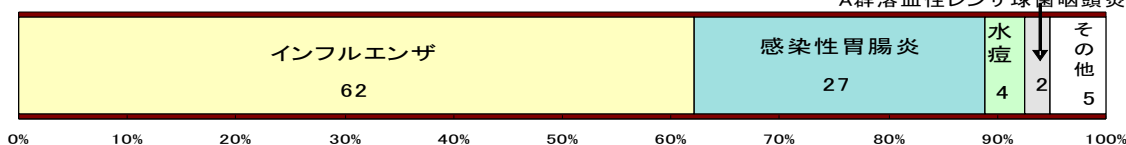
## 県内情報

### ○ 患者情報総評

#### 注意報発令疾患：インフルエンザ

- 週をとおして晴れの日が多く、気温も安定して過ごしやすかった。
- インフルエンザ（中央西：警報→注意報，幡多：注意報→注意報，高知市：注意報→注意報）は全ての地域で減少し，総数は前週の約7割に減少した。
- 感染性胃腸炎（幡多：注意報）は中央西，高幡，幡多で増加したが，その他の地域で減少し，総数は前週の約8割に減少した。しかし，幡多では注意報値を超している。
- 水痘（高幡：注意報，高知市：注意報）は高知市と高幡で増加し，注意報値を超した。しかし，その他の地域で減少または横ばいとなり，総数は減少している。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は安芸からの報告はなく，高幡では横ばい，その他の地域では減少し，総数は前週の6割に減少した。地域毎にみても，全ての地域で注意報値を下回っている。

上位疾患構成図



## 地域別感染症注意報・警報発生状況

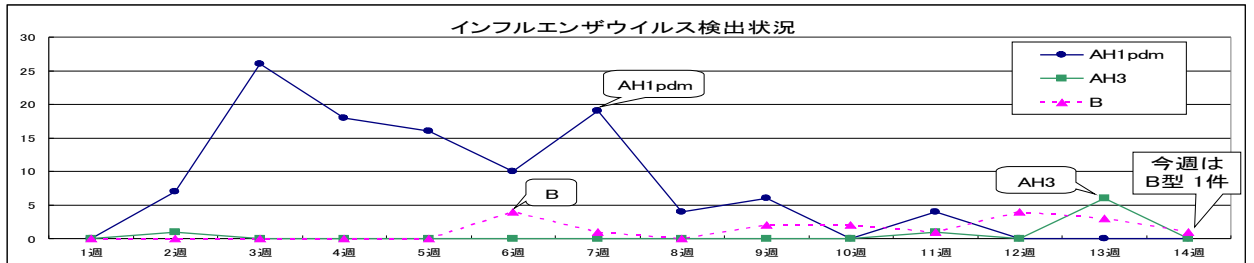
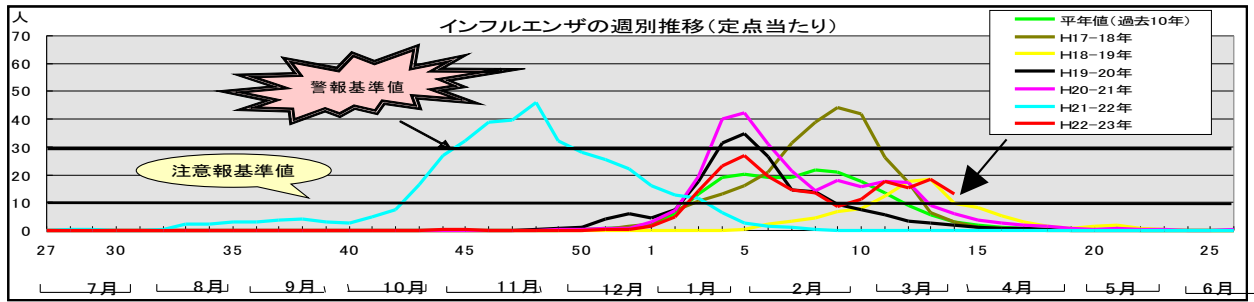
第14報 (2011年4月4日~2011年4月10日)



### インフルエンザ：今週 13.08 (注意報値：10.00 警報値：30.00)

全ての地域で減少し，総数は大幅に減少した。中央西では警報値を下回ったが，幡多，高知市とともに注意報値を超える流行は続いている。年齢別にみると，5～9歳が27.4%，1～4歳が26.6%，10～14歳が13.4%の順で報告が多い。今週はInfluenza B が1件検出された。

例年であれば，今後は減少傾向が続くと思われるが，依然注意報値を超しており，また，学校等の春休みが終了し，再び集団生活が始まっており，しばらくは注意が必要である。

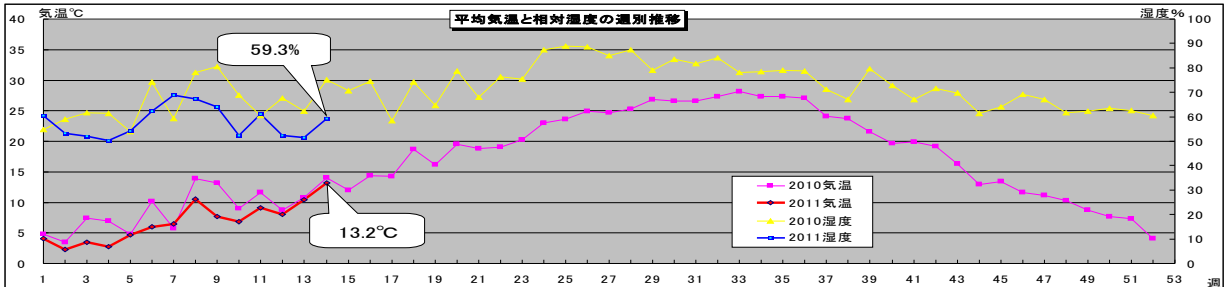


**検査情報**

週	臨床診断名	患者	地域	ウイルス、細菌の検出状況
14	インフルエンザ	5歳 男	高知市	Influenza virus B NT
14	感染性胃腸炎	6ヵ月 男	高幡	Norovirus GII NT
14	感染性胃腸炎	2歳 女	高幡	Norovirus GII NT
11	感染性胃腸炎	1歳 男	高幡	Norovirus GII NT
9	上気道炎	9ヵ月 男	高知市	Adenovirus 2
14	マイコプラズマ肺炎	12歳 女	高幡	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
14	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5歳 女	高幡	<i>Streptococcus pyogenes</i>

- 全数報告の感染症情報  
報告はなかった。

- 高知県の平均気温と湿度 (週別)



- 定点からの地域ホット情報

**幡多:**

《幡多けんみん病院小児科》: インフルエンザの17例中5例はA型陽性, 12例はB型陽性  
 《さたけ小児科》: インフルエンザの33例中10例はA型陽性, 20例はB型陽性  
 マイコプラズマ肺炎1例 (6歳男)

《大井田病院小児科》: インフルエンザの16例中11例はB型陽性

《渭南病院小児科》: インフルエンザの17例中6例はA型陽性, 9例はB型陽性, 予防接種歴あり2例, なし12例

《こいけクリニック》: インフルエンザの58例中9例はA型陽性, 49例はB型陽性

《幡多けんみん病院内科》: インフルエンザの10例中2例はA型陽性, 8例はB型陽性

《松谷内科》: インフルエンザの8例中2例はA型陽性, 5例はB型陽性, 予防接種歴ありは3例

**高幡:**

《もりはた小児科》: インフルエンザの25例中2例はA型陽性, 23例はB型陽性, 予防接種歴ありは7例  
 アデノウイルスによる滲出性扁桃炎 2例  
 感染性胃腸炎はロタウイルスが中心に流行中

《大西病院小児科》: インフルエンザの2例中1例はB型陽性

《須崎くろしお病院内科》: インフルエンザの6例中3例はA型陽性, 3例はB型陽性

《くぼかわ病院内科》: インフルエンザの6例中5例はB型陽性

**中央西:**

《石黒小児科》: インフルエンザの38例中14例はA型陽性, 24例はB型陽性, 予防接種歴ありは13例  
 単純ヘルペス 1例 (1歳男)

《くぼたこどもクリニック》：インフルエンザの14例は全てB型陽性〔うち2例（7,10歳男）は土佐市〕,うち2例は予防接種歴あり 感染性胃腸炎の1例（4歳男）は高知市

《土佐市民病院内科》：インフルエンザの28例中12例はA型陽性,16例はB型陽性

《高北病院内科》：インフルエンザの7例中1例は予防接種歴あり

#### 高知市：

《細木病院小児科》：インフルエンザの19例中10例はA型陽性,9例はB型陽性

《矢野小児科》：インフルエンザの31例中3例は予防接種歴あり

《福井小児科内科》：インフルエンザの16例は全てB型陽性,うち1例は予防接種歴あり

《けら小児科・アレルギー科》：インフルエンザの59例は全てB型陽性,予防接種歴ありは12例

アデノウイルス陽性 2例（1,7歳女）

カンピロバクター腸炎 1例（2歳男）

《ふないキッズクリニック》：インフルエンザの8例中1例はA型陽性,7例はB型陽性

A型陽性の1例は今シーズン2回のA型感染

《依岡内科》：インフルエンザの6例中2例は予防接種歴あり

《高知医療センター小児科》：インフルエンザの4例中2例はA型陽性,2例はB型陽性,予防接種歴ありは1例

《細木病院内科》：インフルエンザの6例中2例はA型陽性,4例はB型陽性

《高知赤十字病院内科》：インフルエンザの10例中6例はB型陽性,予防接種歴ありは4例,なしは6例

《近森病院内科》：インフルエンザの21例中6例はA型陽性,12例はB型陽性,うち予防接種歴ありは3例,なしは7例

《高知医療センター内科》：インフルエンザの5例は全てB型陽性,予防接種歴なし

#### 中央東：

《高知大学医学部附属病院小児科》：インフルエンザの6例中1例はA型陽性,3例はB型陽性

感染性胃腸炎の3例（2歳女,4歳男女）はロタウイルス腸炎

《吉本小児科皮膚科》：インフルエンザの10例は全てB型陽性

《あけぼの小児クリニック》：インフルエンザの24例は全てB型陽性

《野市中央病院小児科》：インフルエンザの1例はB型陽性,予防接種歴なし

《早明浦病院小児科》：インフルエンザの4例は全てB型陽性

《いちはら内科小児科》：インフルエンザの8例は全てB型陽性

《JA高知病院内科》：インフルエンザの9例中1例はA型陽性,8例はB型陽性

《野市中央病院内科》：インフルエンザの7例中1例はA型陽性,6例はB型陽性

《嶺北中央病院内科》：インフルエンザの4例中3例は予防接種歴あり

#### 安芸：

《県立安芸病院小児科》：インフルエンザの7例中2例はB型陽性,予防接種歴なし

《田野病院小児科》：インフルエンザの5例中2例はA型陽性,3例はB型陽性,予防接種歴ありは2例

### 全国情報第12週（3/21～3/27）（<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>）

2類感染症：結核286例

3類感染症：コレラ1例、細菌性赤痢1例、腸管出血性大腸菌感染症8例（有症者4例、うちHUSなし）、パラチフス1例

4類感染症：E型肝炎1例、A型肝炎4例、オウム病1例、つつが虫病2例、マラリア2例、レジオネラ症4例

5類感染症：アメーバ赤痢4例、ウイルス性肝炎（B型）1例、急性脳炎4例、クロイツフェルト・ヤコブ病1例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例、後天性免疫不全症候群8例（AIDS 2例、無症候6例）、梅毒8例、破傷風2例、風しん1例、麻しん5例

報告遅れ：細菌性赤痢1例、腸チフス1例、急性脳炎3例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例、梅毒1例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例、風しん4例

#### ◆インフルエンザウイルス2010/11シーズン

2010/11シーズン当初はAH3亜型の報告数がAH1pdmを上回っていたが、第49週以降、AH1pdmが増加した。AH1pdmは第3週をピークに減少し、第7週以降は再びAH3亜型の報告数がAH1pdmを上回っている。

2010/11シーズンにはAH1pdmが全都道府県から5,576件、AH3亜型が全都道府県から2,900件、B型はビクトリア系統株が31都道府県から558件、山形系統株が10県から22件、系統不明株が29都道府県から198件報告されている。

直近の2011年第8～12週の5週間ではAH1pdmが34都道府県から243件（山形県24件、青森県19件、高知県、兵庫県各13件、茨城県、福井県、大阪府各11件、栃木県、山梨県各10件、秋田県、富山県各9件、和歌山県8件、宮城県、石川県、長野県、三重県、愛媛県各7件など）、AH3亜型が36都道府県から620件（埼玉県54件、兵庫県51件、宮城県49件、神奈川県42件、北海道37件、山形県、島根県各28件、新潟県、福岡県各27件、千葉県26件、栃木県25件、茨城県、東京都各24件、大阪府19件、長野県18件、熊本県16件、秋田県12件、香川県11件など）、B型はビクトリア系統株が25府県から192件（神奈川県23件、富山県16件、島根県、広島県各15件、埼玉県13件、兵庫県12件、千葉県、大阪府各11件、山形県10件、福井県、長野県、静岡県、山口県各8件、福岡県6件など）、山形系統株が2県から2件（埼玉県、神奈川県各1件）、系統不明株が18都道府県から115件（大阪府20件、東京都15件、北海道、静岡県各11件、兵庫県8件、高知県、沖縄県各7件、青森県6件、茨城県、神奈川県各5件など）報告されている。AH3亜型（620件）が分離・検出例全体（1,172件）の53%、B型（309件）が26%を占め、AH1pdm（243件）は21%を占めている。

定点名	医療圏 疾病名	安芸 医療圏	中央医療圏			高幡 医療圏	幡多 医療圏	計	前週	全国(13週)	高知県(14週未累計) H23/1/3~H23/4/10
			中央東	高知市	中央西						
内科・小児科	インフルエンザ	12	82	230	102	39	163	628 ( 13.08)	881 ( 18.35)	48,290 ( 10.02)	9,703 ( 202.15)
小児科	咽頭結膜熱		5		1	4		10 ( 0.33)	4 ( 0.13)	958 ( 0.31)	111 ( 3.70)
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		3	11	5	2	3	24 ( 0.80)	40 ( 1.33)	5,381 ( 1.74)	656 ( 21.87)
	感染性胃腸炎	12	60	72	33	21	73	271 ( 9.03)	332 ( 11.07)	22,811 ( 7.40)	3,974 ( 132.47)
	水痘	2	1	25	2	6	1	37 ( 1.23)	47 ( 1.57)	4,786 ( 1.55)	753 ( 25.10)
	手足口病		1	6				7 ( 0.23)	15 ( 0.50)	382 ( 0.12)	102 ( 3.40)
	伝染性紅斑		2	5	1			8 ( 0.27)	8 ( 0.27)	2,066 ( 0.67)	55 ( 1.83)
	突発性発疹		4	6		2	3	15 ( 0.50)	13 ( 0.43)	1,674 ( 0.54)	154 ( 5.13)
	百日咳								1 ( 0.03)	79 ( 0.03)	7 ( 0.23)
	ヘルパンギーナ		2					2 ( 0.07)	2 ( 0.07)	76 ( 0.02)	26 ( 0.87)
	流行性耳下腺炎			2		1	1	4 ( 0.13)	10 ( 0.33)	2,953 ( 0.96)	85 ( 2.83)
	RSウイルス感染症		3	1				4 ( 0.13)	1 ( 0.03)	627 ( 0.20)	553 ( 18.43)
眼科	急性出血性結膜炎									16 ( 0.02)	( 0.00)
	流行性角結膜炎			1				1 ( 0.33)	1 ( 0.33)	301 ( 0.45)	14 ( 4.67)
基幹	細菌性髄膜炎									12 ( 0.03)	1 ( 0.14)
	無菌性髄膜炎									16 ( 0.04)	8 ( 1.14)
	マイコプラズマ肺炎			1				1 ( 0.14)	4 ( 0.57)	147 ( 0.32)	26 ( 3.71)
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)									10 ( 0.02)	1 ( 0.14)
計 (小児科定点当たり人数)		26 ( 10.00)	163 ( 19.03)	360 ( 26.01)	144 ( 34.40)	75 ( 27.75)	244 ( 36.58)	1,012 ( 25.82)			
前週 (小児科定点当たり人数)		44 ( 17.00)	203 ( 23.55)	537 ( 39.56)	249 ( 55.40)	76 ( 25.25)	250 ( 35.90)		1,359 ( 34.12)	90,585	16,229 ( 418.01)

定点当たり

第14週

定点名	医療圏 疾病名	安芸 医療圏	中央医療圏			高幡 医療圏	幡多 医療圏	計	前週	全国(13週)
			中央東	高知市	中央西					
内科・小児科	インフルエンザ	3.00	7.45	14.38	20.40	9.75	20.38	13.08	18.35	10.02
小児科	咽頭結膜熱		0.71		0.33	2.00		0.33	0.13	0.31
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.43	1.00	1.67	1.00	0.60	0.80	1.33	1.74
	感染性胃腸炎	6.00	8.57	6.55	11.00	10.50	14.60	9.03	11.07	7.40
	水痘	1.00	0.14	2.27	0.67	3.00	0.20	1.23	1.57	1.55
	手足口病		0.14	0.55				0.23	0.50	0.12
	伝染性紅斑		0.29	0.45	0.33			0.27	0.27	0.67
	突発性発疹		0.57	0.55		1.00	0.60	0.50	0.43	0.54
	百日咳								0.03	0.03
	ヘルパンギーナ		0.29					0.07	0.07	0.02
	流行性耳下腺炎			0.18		0.50	0.20	0.13	0.33	0.96
	RSウイルス感染症		0.43	0.09				0.13	0.03	0.20
眼科	急性出血性結膜炎									0.02
	流行性角結膜炎			1.00				0.33	0.33	0.45
基幹	細菌性髄膜炎									0.03
	無菌性髄膜炎									0.04
	マイコプラズマ肺炎			0.20				0.14	0.57	0.32
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)									0.02
計 (小児科定点当たり人数)		10.00	19.03	26.01	34.40	27.75	36.58	25.82		
前週 (小児科定点当たり人数)		17.00	23.55	39.56	55.40	25.25	35.90		34.12	

## 2011年週報推移(定点当たり)

